

平成29年度行政事業レビューシート (内閣官房)									
事業名	小さな拠点・地域運営組織の形成促進調査事業			担当部局庁	まち・ひと・しごと創生本部事務局			作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	まち・ひと・しごと創生本部事務局			参事官 吉田 誠	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	まち・ひと・しごと創生総合戦略(2016改訂版) まち・ひと・しごと創生基本方針2017				
主要政策・施策	地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中山間地域等における集落生活圏を維持し、日常生活に必要な生活サービスを維持するため、全国各地での「小さな拠点」や「地域運営組織」の形成推進に向け、人材や資金の確保に必要なノウハウや、地域運営組織の持続的な運営に資する地域資源を活用した連携方策に関する調査研究を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①:全国各地で形成又は形成が予定されている小さな拠点(約1,000か所)について、現状の事業内容や人材、資金等の取組状況や優良事例、課題等の現状分析を実施 ②:①の分析結果を踏まえ、小さな拠点及び地域運営組織の持続的な運営に必要な人材や資金の確保方策、地域資源の活用方策について調査研究を実施								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	10	
		補正予算							
		前年度から繰越し						-	
		翌年度へ繰越し							
		予備費等							
	計	0	0	0	0	0	10		
	執行額								
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	-	10	「新しい日本のための優先課題推進枠」10					
		-							
		-							
	その他	0	0						
	計	0	10						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)									

成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										チェック	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	
		まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的、計画的に推進するための調査等を実施する。	まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げられた施策の推進に資することが可能となる。	実績							
				目標値							
				達成度	%						
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
	・調査の実施件数				活動実績	件					
					当初見込み	件				1	
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	調査に必要な経費／調査の実施件数				単位当たりコスト	百万円					
					計算式	百万円/件					
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策										
		施策									
	測定指標		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
					施策の進捗状況(実績)						
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	改革項目	分野:	制度・地方行財政								
(第一階層) KPI		KPI (第一階層)			単位	計画開始時27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度	
		地域運営組織の形成数【2020年までに3,000団体】			成果実績	団体	1,680	3,071	-	-	-
					目標値	団体	-	-	-	-	3,000
			達成度	%	56	102	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時28年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度	
	小さな拠点の形成数【2020年までに1,000か所】			成果実績	か所	722	722	-	-	-	
				目標値	か所	-	-	-	-	1,000	
			達成度	%	72	72	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
本事業で分析した結果をホームページ等で紹介することにより、小さな拠点及び地域運営組織の持続的な運営に必要な人材、資金の確保、及び地域資源の活用方策について横展開が可能となり、小さな拠点及び地域運営組織の形成推進に寄与する。											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国の重要施策である地方創生の推進のための企画、立案に必要な調査であり、社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	全国における取組状況の分析や施策展開のための調査であり、地方自治体、民間等に委ねることは困難である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	小さな拠点及び地域運営組織に取組に関する現状が全国レベルでは把握されていないため、必要な優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果			
	改善の方向性			

外部有識者の所見

--

行政事業レビュー推進チームの所見

--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣官房
10百万円



民間企業等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)